

第6回東京都北区資源循環推進審議会

平成25年6月19日

午後2時開会

第二委員会室

次 第

○ 開 会

○ 会長挨拶

議 題

- 1 東京二十三区清掃一部事務組合の分担金について
- 2 戸別収集の地域拡大について（その2）
- 3 家庭ごみの有料化について（その2）
- 4 その他
 - (1) 次回、第7回審議会の開催日程について
 - ・日時 平成25年8月28日（水）午後2時
 - ・会場 北区議会第二委員会室
 - (2) 第8回審議会の開催日程について
 - ・日時 平成25年11月6日（水）午後2時（予定）
 - ・会場 北区議会第二委員会室

○ 閉 会

《配付資料》

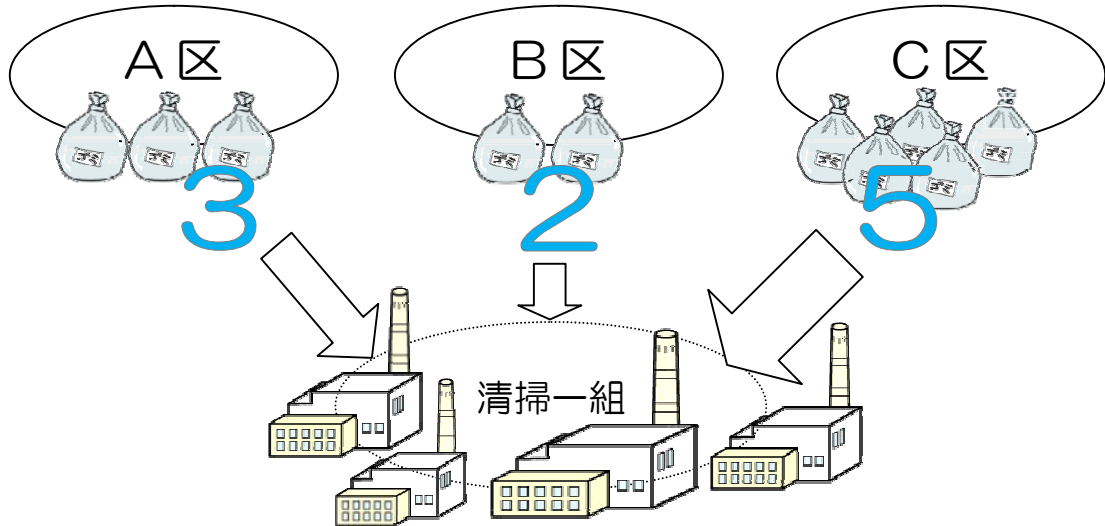
- 資料1 東京二十三区清掃一部事務組合の分担金について
- 資料2 戸別収集の地域拡大に伴うメリットとデメリット
- 資料3 戸別収集を拡大した場合の収集方法について
- 資料4 検討済み各区審議会答申から家庭ごみ有料化に関する部分の抜粋
- 資料5 有料化実施5市のごみ収集状況
- 資料6 家庭ごみの有料化の試算

東京二十三区清掃一部事務組合の分担金について

● 清掃一組分担金の仕組み

清掃工場の運営費用は、23区が分担金として、ごみ量の割合で負担しています。

【分担金イメージ図】

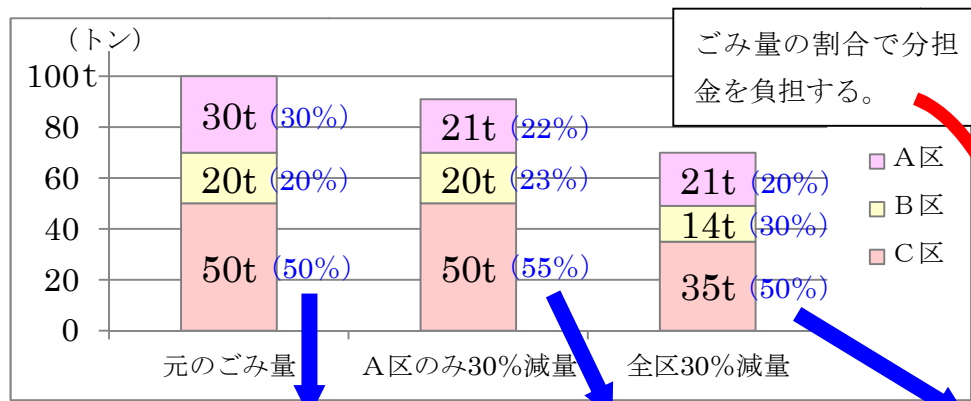


● 分担金のごみの割合について

1区のみがごみを減らせば、その区の花担金が減少しますが、全区が同様の割合でごみを減らせば、分担金は変わりません。

※清掃工場の建替などがあるため、ごみの減少はすぐに分担金総額に反映しません。

【例：10,000円を分担する場合】



	円	割合	円	割合	円	割合
A区	3,000	30%	2,200	22%	3,000	30%
B区	2,000	20%	2,300	23%	2,000	20%
C区	5,000	50%	5,500	55%	5,000	50%
計	10,000	100%	10,000	100%	10,000	100%
			A区のみがごみを減らせばA区の花担金は減り、他の区が負担する分担金が増加します。		全区が同じ割合でごみを減らせば、分担金は変わりません。	

※清掃一組の収入は、事業系持込業者からの手数料収入や売電収入などもあります（参考資料「ごみれぽ23 2013」抜粋あり。）。

I 清掃一組の概要

ごみれぽ2013から

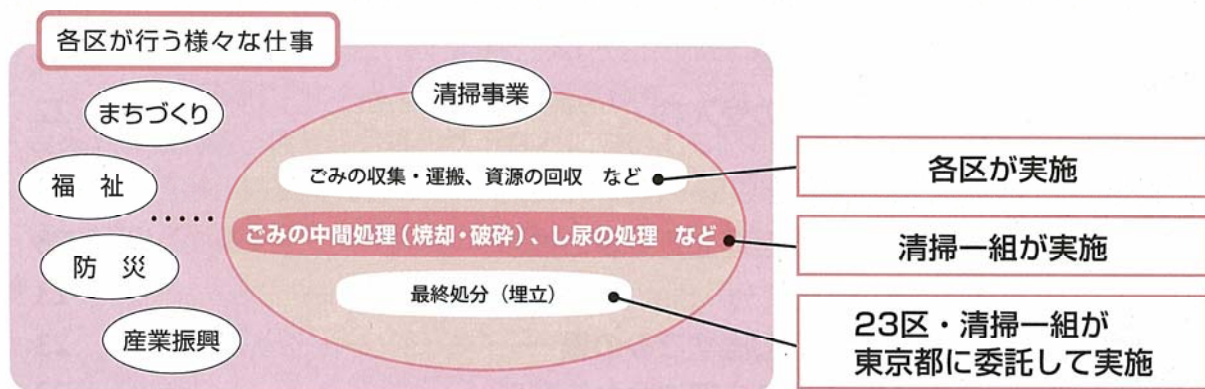
1 設置の経緯・目的

23区と東京都は、長年にわたり、23区の自主性の強化、東京都のより広域的な立場からの大都市行政の推進といった観点から、お互いの在り方・制度について議論を重ねています。

その一環として、住民に身近なサービスである清掃事業が平成12年4月1日、23区に移管されました。その際、ごみの収集・運搬は各区が実施することとしましたが、ごみの中間処理（焼却や破砕など）は処理施設がない区がある、また、より効率的な処理を行う、といった理由から、23区が共同で処理することとなりました。

「清掃一組」は、この共同処理を行うため、地方自治法に基づき、23区の総意により設置された特別地方公共団体です。

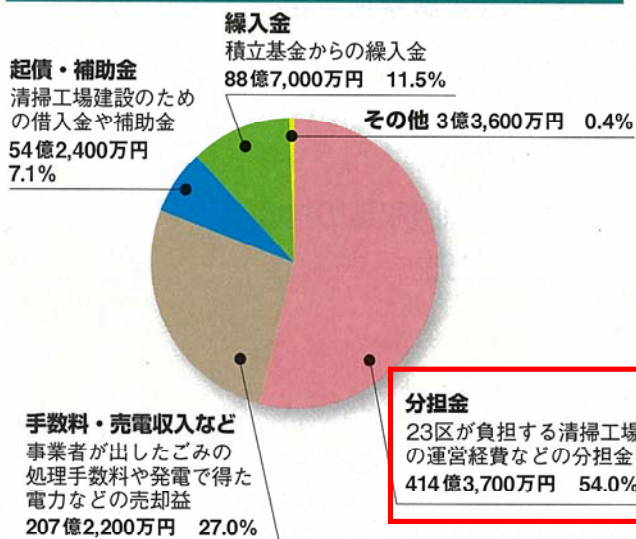
なお、埋立処分は、23区と清掃一組が、埋立処分場を設置・管理する東京都に委託して実施しています。



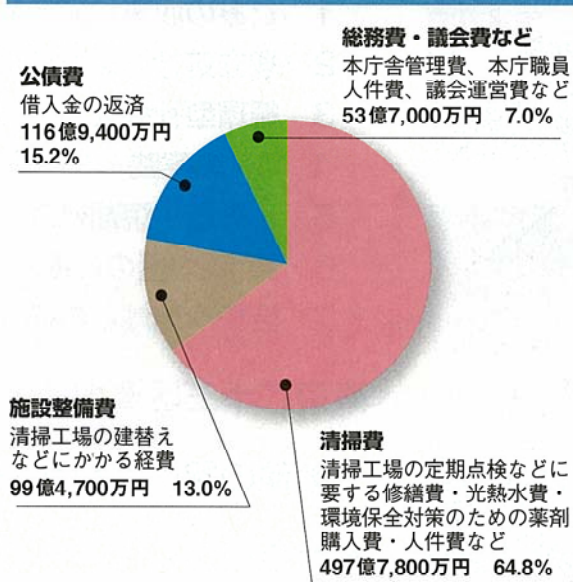
2 平成24年度の予算

平成24年度 当初予算額 767億8,900万円

歳入



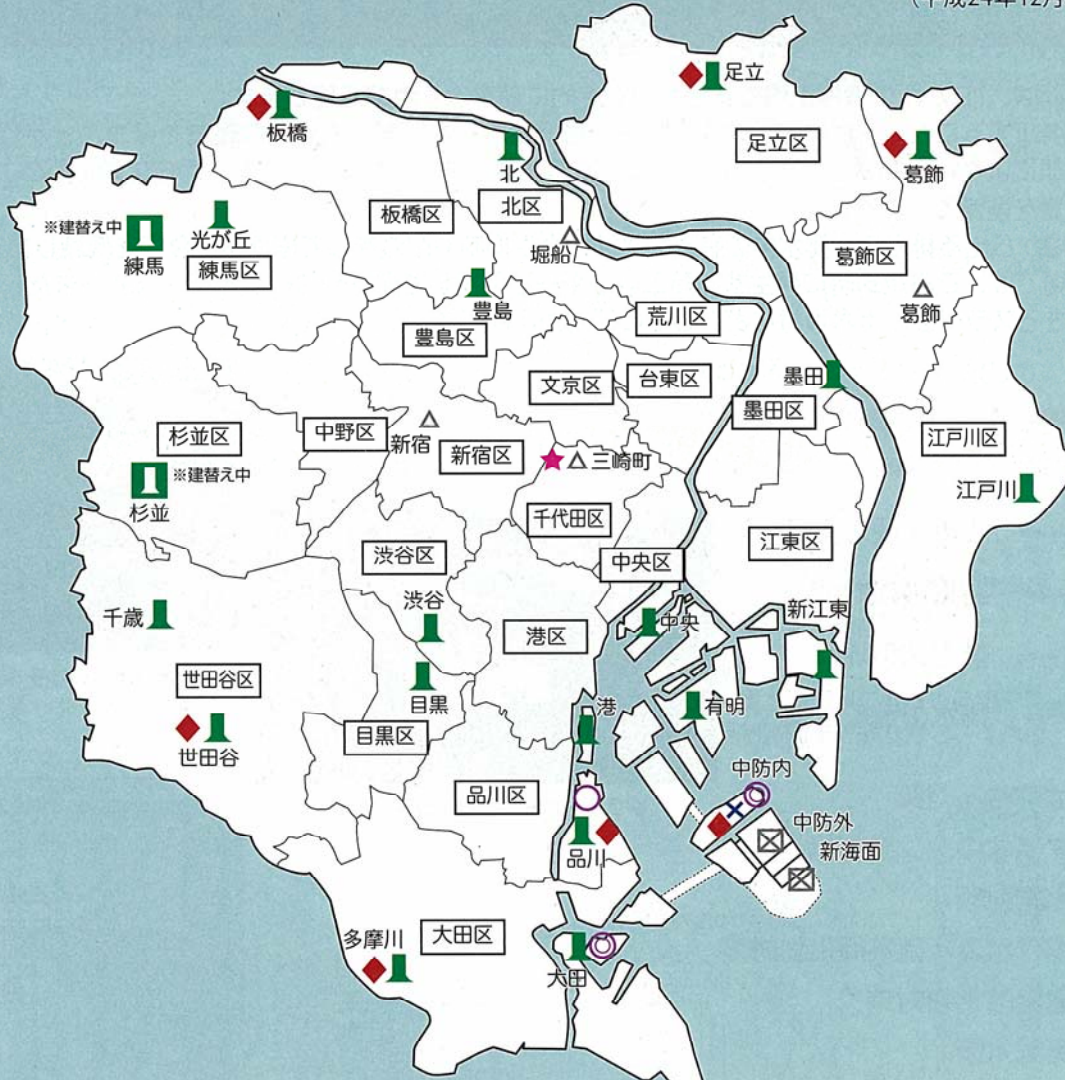
歳出



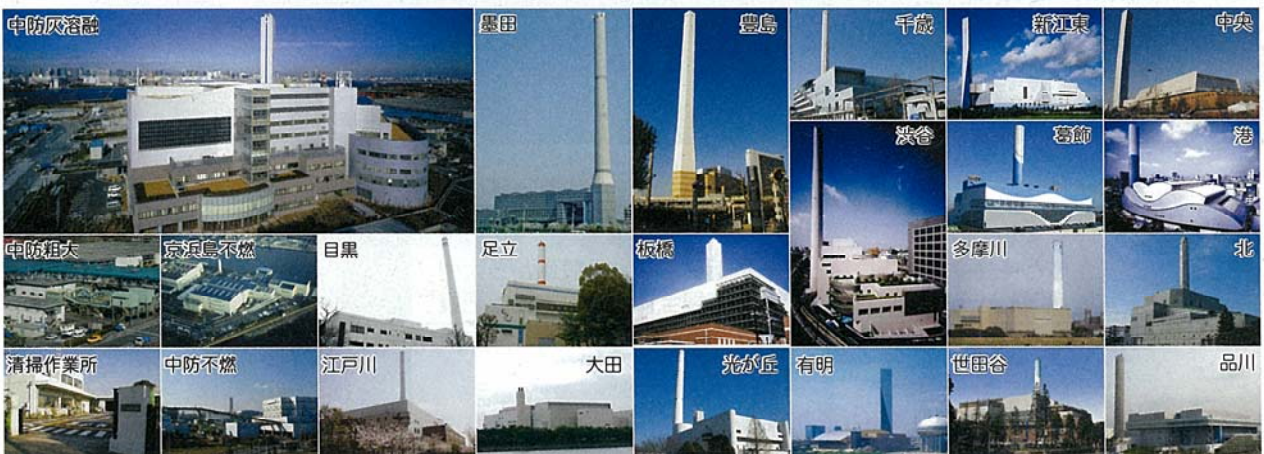
北区の平成24年度分担金14億9,931万5千円

3 施設配置図

(平成24年12月現在)



凡例	■ 清掃工場(可燃) 19	◆ 灰溶融施設 7	◎ 不燃ごみ処理センター 2
	○ 清掃作業所(し尿) 1	✕ 粗大ごみ破碎処理施設 1	★ 本庁舎
	△ 中継所(不燃)[所在区所管]	☒ 埋立処分場[東京都所管]	



戸別収集の地域拡大に伴うメリットとデメリット

1 実施他自治体の例などから想定されるもの

メリット

- ・ごみの減量
- ・ごみの減量に伴う車両経費・人件費の減額（全域で安定実施後）
- ・ごみの減量に伴う清掃一組分担金の減額
- ・事業系ごみ(有料ごみ処理券)の適正化（注1）

デメリット

- ・作業能率低下に伴う車両経費・人件費の増額

2 区民アンケートから戸別収集に関する主な自由意見からのまとめ

戸別収集に賛成する理由	同趣旨と考えられる意見件数
・高齢者、障害者など弱者への利便性の向上	22
・各戸が責任を持ってごみ出しすることで意識向上が図れ、減量や資源分別などに効果あり	21
・集積所の前の家の負担の軽減。不公平是正	5
・不法投棄の防止	3
・区内統一実施による公平性の確保	1

戸別収集に反対する理由	同趣旨と考えられる意見件数
・収集費用の増加	17
・せまい道路などの収集困難性	5
・集合住宅が多いのに戸建てのみを対象にすることの問題	5
・プライバシー侵害への危惧	4
・カラス、猫など動物対策の個人対応への不安	3

(注1)

小規模事業者が区の収集にごみを出す場合、有料ごみ処理券を購入し、貼付しなくてはなりません。ただし、集積所での収集の場合ごみの排出者が特定できず、一見して事業者によるごみと判断できない場合もあり、事業系ごみの有料ごみ処理券貼付率は100%とは言えない状況にあります。

これに対し、戸別収集を実施した場合、事業系ごみが明確化されることから、貼付率のアップが期待できます。

■問 13 【自由意見】戸別収集についてのご意見

No	地区	居住形態	自由意見
1	赤羽	戸建て	赤羽西 6 現に実施している
2	赤羽	集合住宅	意味ない。ラクだとは思いますが、めんどくさい。
3	赤羽	集合住宅	各自出す時間がずれ、回収遅れによるデメリットはないのでしょうか。
4	赤羽	戸建て	カラス被害の対策は自分ですることになる。
5	赤羽	集合住宅	希望者だけ…？又は高齢者
6	赤羽	戸建て	決められた場所に出すべき。戸別収集は、その人のわがままだ！
7	赤羽	戸建て	車が入れないと思う。
8	赤羽	戸建て	車の入らない小さな路地が多いのでむずかしいのでは？
9	赤羽	戸建て	車の入れない路地が多く不可能では？
10	赤羽	戸建て	高齢者が多くなり、集積所までごみを出すのが大変になりつつあると思います。
11	赤羽	集合住宅	高齢者だけの住居の人には戸別収集をしてあげても良いと思います。
12	赤羽	戸建て	高齢者や障害者については実施した方がよい。
13	赤羽	戸建て	個人個人自覚を持って集積所での収集が良い。
14	赤羽	集合住宅	戸建てであれば戸別が有効。お年よりなども集積所へ出かなくて良い。
15	赤羽	集合住宅	戸建てより、マンション、アパートの方が多いためムリでしょう。
16	赤羽	集合住宅	戸別収集にした場合、費用はどれ位増加するのでしょうか。
17	赤羽	戸建て	戸別収集は、不法投棄をなくす為、とても良いと思いますが費用がかかるでは、できませんね？
18	赤羽	集合住宅	ごみ出しのマナーが良くなると思います。
19	赤羽	戸建て	ごみ当番に出る、出ないというわずらわしさがなくなるのは良いことで、反面、収集費用の住民負担はいたしかたないことだと思います。
20	赤羽	戸建て	ごみに各戸で責任を持つ習慣ができる
21	赤羽	戸建て	ごみの出し方、時間等いろいろ問題があると思う。
22	赤羽	集合住宅	これも費用対効果で判断すべきだと思います。
23	赤羽	戸建て	作業する人達が大変そうでしょう。
24	赤羽	集合住宅	時間的に問題がある。
25	赤羽	集合住宅	集合住宅が相当数ある現状で、戸建住宅だけを対象にすること

No	地区	居住形態	自由意見
			に疑問、費用も問題。
26	赤羽	集合住宅	集合住宅では現実的でない。
27	赤羽	集合住宅	集合住宅なのでよくわからない。
28	赤羽	戸建て	集合住宅の方のごみ出しのマナーが悪い場合が多いが、戸別収集しても、集合住宅の方のマナー向上につながらない気がする・・・（結局集積所と同じになるので）
29	赤羽	戸建て	収集者の方の負担にならないような方法が望ましいです。
30	赤羽	集合住宅	収集費用が掛かるなら、滝野川も集積所での収集にするべき。
31	赤羽	戸建て	集積所に適した場所があって、管理が行き届けば戸別収集にこだわらない。
32	赤羽	集合住宅	身体の不自由者は良いが、住民の甘えがひどくなります。
33	赤羽	集合住宅	ストーカー被害などが心配。
34	赤羽	集合住宅	だらしないごみ出しをする人がいるから戸別収集をしたのだろうが、住民一人一人の自覚が大切であり、費用を少なくして欲しい。
35	赤羽	その他	団地内は戸別は？
36	赤羽	集合住宅	年寄りの人で体の自由がきかない人の所は戸別にしてもらおうとありがたいと思う。
37	赤羽	集合住宅	トラブルが多いと聞く。ごみ⇄人の性格と当てはめると理解できる。現代、自分勝手な人が増えているから、戸別は問題が多いと思う。
38	赤羽	戸建て	野良猫が多い為戸別収集になると猫対策をしないといけなくなり負担が増えてしまう。
39	赤羽	戸建て	場所があれば今のままで良い。
40	赤羽	集合住宅	費用が相当かかると思いますので無理かと思います。
41	赤羽	戸建て	費用がなるべく掛からない方法を考えて実施して欲しい。自宅傍が集積所の為、いつ放火されるか、いつも心配なのです。
42	赤羽	戸建て	病人、高齢者は必ず事前に届けること。
43	赤羽	集合住宅	費用はあまりかけない方がよい。
44	赤羽	戸建て	費用は大変でしょうが戸別の方が責任を持ってごみを出すとします。
45	赤羽	戸建て	費用を抑える工夫を。
46	赤羽	戸建て	不法投棄対策については、別途、考える必要があると思う。
47	赤羽	集合住宅	不法投棄等防止・ひとり家庭高齢者等見守りの意から増加する

No	地区	居住形態	自由意見
			分野だと思う。
48	赤羽	集合住宅	分別仕訳の意識は高まりますが、区の費用や収集する方の苦勞が大変だと思います。
49	赤羽	戸建て	本人の希望により戸別。
50	赤羽	集合住宅	全く知らなかった。なぜ滝野川地区のみか疑問。区内統一（集積所）にすべき。
51	赤羽	集合住宅	マンションに住んでいるので実態に合わない。
52	赤羽	戸建て	ワンルーム集合住宅は難しく、集積場所を設けるのでしょうかが外部の人が投棄していくのを見かけます。
53	王子	戸建て	足が不自由な高齢世帯への戸別収集した方が良い。
54	王子	戸建て	新しい戸建てが出来た際そこは戸別収集になると聞いていたが、隣の集合住宅の収集所に出しているのを目にする。
55	王子	戸建て	新しく区民になった人にごみの出し方のルールの説明をしてください。
56	王子	戸建て	アパートが多くその住人の生ごみ等きちんとした状態に出せるか疑問。収集後の掃除は？
57	王子	戸建て	いつも同じ家の前に固定すると迷惑になるので順番制にする。
58	王子	集合住宅	動けるうちは②で良いと思う。
59	王子	集合住宅	回数制限などを行うなら、収集費用の増加の意味がわからない。
60	王子	戸建て	各自の責任が明確になり出し方を守るのではないか。今は人様の家の前に出しているのが心苦しい。ちょっとしたことで文句を言われお互いよくない。ぜひ戸別回収をお願いしたい。
61	王子	集合住宅	現在、集合住宅へ居住しているが特に有料の粗大ごみ、パソコン類の廃棄方法を守らない人もいるので戸別収集はその様な事が起きにくく良いと思う。高齢者にとって戸別収集の方が良いのであれば、存続しても良いと思う。
62	王子	戸建て	現在戸別収集で気をつけて出しています。ワンルームマンションで管理人のいません所はどうもだらしなない様です。
63	王子	集合住宅	現在戸別収集とかわらない。
64	王子	集合住宅	高齢者への配慮は必要。
65	王子	集合住宅	高齢者や障害世帯等には必要と思われる。
66	王子	集合住宅	高齢の一人暮らしが多いのでは。
67	王子	集合住宅	戸別収集にして欲しいと思っておりますがどの様をお願いするのかかわからない。

No	地区	居住形態	自由意見
68	王子	集合住宅	戸別収集にしても、ごみを正しく出せない人は、同じだと思う。
69	王子	戸建て	戸別収集は、不必要。そこまでサービスすることはないと思う。
70	王子	集合住宅	戸別収集はただのわがままだから有料にすればいい!!
71	王子	集合住宅	戸別収集まで実施しなくてよい。集積所の範囲を狭くし、責任がとれる程度の戸数にして、集積所を指定したら良いと思う。
72	王子	戸建て	戸別収集よりは生ごみ収集を週に3回実施して下さい。隣接区のように週3回あれば、1回の量が少ないので高年齢の人でも出しやすいと思われます。生ごみが出しやすいと思います。
73	王子	その他	戸別の場合他の人が不法投棄するのが心配。
74	王子	集合住宅	ごみを漁られたら嫌なので。
75	王子	戸建て	最近マナーを守らない人が多く、戸別だと汚れるのは自分の家の前。みんな回収日を守るからいいと思います。
76	王子	戸建て	集合住宅の住民が分別のルールを守っていないケースが多い。集積収集の問題は集合住宅対策にあると思う（集合住宅の貸主の責任で集積の場所を設置させる）
77	王子	戸建て	収集所の前の家だけ不便をかけることになり不公平だと思う。
78	王子	戸建て	収集の時間帯などが問題になると思います。
79	王子	集合住宅	収集費用が、かかりすぎるとまずいと思う。
80	王子	集合住宅	収集費用がかかるのでやめた方がよい。
81	王子	戸建て	収集費用が増加するのであれば集積所でよいと思います。
82	王子	集合住宅	集積所では、ごみの出し方がひどい（若い夫婦世帯）ので、戸別が良い。
83	王子	戸建て	集積所の場合は個人が無責任になり適当な分別されないし水切りも無く毎回集積所の掃除を決まった人だけがしています。無責任をなくしたいので、戸別収集を希望します。
84	王子	集合住宅	集団住宅では無理がきかないのでは。
85	王子	戸建て	全域でやる必要はないと思うか？地域の理解、各戸の協力が受けられないなら、しかたがなく、戸別収集になっていくのではないか。
86	王子	戸建て	大変だと思う。普通の家庭ならダンボールなど余り出ない。可燃の方に出した方が良いのでは？
87	王子	戸建て	地域、その時々で回収時間に違いが大きい。土曜日の朝の回収は8:00すぎだと間に合わない事もある。9:00～だとありがたい。
88	王子	戸建て	費用がかかるのでどうしてもという場合以外はしない方がよい。

No	地区	居住形態	自由意見
89	王子	集合住宅	費用の無駄。
90	王子	集合住宅	不法投棄の現場を目撃したが、車で来て窓から投げ捨てているのを見て戸別にしてもゼロにはならないと思う。
91	王子	集合住宅	プライバシーの侵害について不安がある。
92	王子	集合住宅	マンション住まいしていますが、どういうわけか、近所のごみ集積所が当マンションの門の脇になっています。夏場は特に大変で、息を止めながらごみの脇を出入りしています。自分たちのごみは自分たちの前に集積してもらいたい。本当に困っています。
93	王子	集合住宅	王子に住んでいますが、子供が滝野川地区の学校の為いきませんが、清掃員の方が、よく、家～家を走り回っているのを見かけます。とても、大変そうで頭が下がります。集積所にすれば、1ヶ所で済むと思います。
94	滝野川	集合住宅	あまり遠くなるとこまる。
95	滝野川	戸建て	家の前がごみ収集所で、あまりにごみが大量すぎる為汚いし、カラスに散らかされて困っている。またニオイが気になる。戸別の方が片付けなど責任を持ってごみ出しが出来ると思う。
96	滝野川	集合住宅	同じ人が回るなら安否確認にもなるかも？
97	滝野川	戸建て	各家庭が自覚をもってきちんとごみ出しをするのでとても良い。街が清潔。
98	滝野川	戸建て	区でも、無駄なお金が、相当使われていると思います。戸別収集には、使って良いと思います。
99	滝野川	集合住宅	区より、アパート、マンションの管理人に転入者にごみ出しについて、充分、周知させる様指導する。
100	滝野川	戸建て	戸別収集ですと、カラス、猫等に荒らされても自分で片づけているから。
101	滝野川	戸建て	戸別収集の方法が良いのですが費用が増加するのであれば税金も減収している折集団の方法でも良いのでは(皆で気をつけて出す)
102	滝野川	その他	戸別収集は大賛成。以前は不法投棄で悩まされていたので…。アパートを運営している大家さんは自分の所の住民のごみもしっかり管理してもらいたい。
103	滝野川	戸建て	戸別収集は皆が責任持てるので良いと思う。
104	滝野川	戸建て	戸別は便利ですが、知らない方が勝手においていたりする事があり心配。
105	滝野川	戸建て	自己責任において行う方が集積所の負担を人任せでない方が

No	地区	居住形態	自由意見
			よい。
106	滝野川	戸建て	自分の家の前に出していない。電柱にごみ箱をしばりごみを出している。町の美しさにかける。
107	滝野川	戸建て	自分の家の物だと、まじめな考えで、規則を守ると思います。
108	滝野川	集合住宅	集合住宅に住んでいるので、よく判らないが、集積所だとい、虫が居て嫌です。
109	滝野川	集合住宅	集合住宅に住んでいるので意見が出来ない。
110	滝野川	戸建て	集積所まで運ぶのが年寄りにはきついので継続して欲しい。
111	滝野川	戸建て	集積所迄もっていくのがめんどうな人がいると、ごみ収集が不確実になる。
112	滝野川	集合住宅	税金をごみの回収に使うべきではない。
113	滝野川	戸建て	それぞれの責任を持って出すようになったので猫や鳥に散らかされることが少なくなりました。
114	滝野川	戸建て	滝野川はせまいため戸別収集がいいです。(滝野川在住)
115	滝野川	戸建て	徹底してやるなら名前記入で排出。分別されてないものは収集しない。個人情報関係なし。(粗大ごみは名前を書くので)悪質に排出する人には対策を！！
116	滝野川	戸建て	道路から30mはなれているので車が入れないので戸別は無理。
117	滝野川	戸建て	通りに面しているのでごみを置かれることが多い。
118	滝野川	集合住宅	どの家庭のごみか一目でわかる事により意識向上に繋がると思う。
119	滝野川	集合住宅	分別意識の向上等の効果はどれほどあるのでしょうか。また、一方で、収集作業員の方の作業負荷や、作業時の安全性の向上などコスト以外のメリットデメリットを現場から聞いて継続か否かを判断してはどうでしょうか。コストとのかねあいはもちろん最重要と思います。
120	滝野川	集合住宅	分別がしっかりしている、ごみの出し方がきれいだ。以上良い所。
121	滝野川	戸建て	ペットボトルの袋が少ない。小さくたたまないペットボトルが多くかさばる為。
122	滝野川	集合住宅	マンションに居住を決めたのは、敷地内に集積所があり、ごみ管理にも管理費を払えるから。
123	滝野川	集合住宅	良い結果が出ているならつづけた方がよいと思う。
124	滝野川	集合住宅	私が出す収集所にはときどき分別が守られていないのでパンフレットなど配布して欲しい。

No	地区	居住形態	自由意見
125	滝野川	戸建て	私は体が、少し不自由なので自分の家の前にしてほしい。
126	滝野川	その他	為政者は、足りなくなると国民都民、区民につけを廻すが各家庭では、つけを廻す所が無い。その人々を何処迄いじめれば良いのか、もう少し考えて欲しい。
127	滝野川	集合住宅	戸別の対象ではないが、集積所にすると後片付け（掃除 etc）などの問題が出そう。
128	無回答	無回答	集積所収集にすると粗大ごみに札を付けずに出す人が必ず出てくる。
129	無回答	無回答	新規転入者の不法投棄を排除するには入居時に於いて不動産業者がよくごみ出し日の説明をして欲しい。

戸別収集を拡大した場合の収集方法について

1 参考 現状の北区・品川区・台東区における収集方法

区 分	北 区	品 川 区	台 東 区
事業の位置付け	滝野川地区モデル実施	全域本格実施	全域本格実施(注1)
可燃ごみ	戸別収集	戸別収集	戸別収集
不燃ごみ	戸別収集	戸別収集	戸別収集
資源(古紙)	集団回収(戸別回収)	ステーション(集積所)回収	ステーション(集積所)回収
資源(びん・缶、ペットボトル)	ステーション(集積所)回収	ステーション(集積所)回収	ステーション(集積所)回収

* 戸別収集とは、建物ごとにごみを収集していく方法です。

(注 1) 平成25年度から3カ年で区内全域へ順次拡大する。平成25年度は、区内のおよそ1/3の地区を四つに区分し、4月から3ヶ月ごとに拡大する。

2 収集方法の考え方について

- 可燃ごみ・不燃ごみについては、戸別収集を行う
- 戸別収集においては、建物ごと(戸建、集合住宅ごと)にごみを収集する
- 資源(古紙)については、集団回収を推進するとともに行政回収においては集積所回収を行う
- 資源(びん・缶・ペットボトル)については、ステーション回収を行う

検討済み各区審議会答申から家庭ごみ有料化に関する部分の抜粋

(答申時期の新しい順)

1 練馬区

練馬区循環型社会推進会議

リサイクル・清掃事業の効率化と負担のあり方について (答申) 平成24年6月
(省略)

(3) 費用負担導入の必要性

当推進会議では、国の方針等を踏まえ、他都市の事例を比較・検討するとともに、家庭ごみの有料化を実施している自治体の視察を行い、家庭ごみ有料化についての情報収集・整理を行いながら慎重かつ活発な審議を重ねてきました。

家庭ごみの有料化による区民のごみ処理費用負担を導入している自治体では、ごみ量が10%~20%程度減少しており、これは、この導入過程で行われるごみ問題についての議論が排出者のごみ減量に対する意識を高めるとともに、費用負担という経済的インセンティブが働くためであると考えられます。

ごみの減量は、収集・運搬、焼却や破砕といった中間処理、および埋立処分に係る処理量の減を意味し、ごみ処理に係る温室効果ガス排出の減少による環境負荷の低減にもつながります。

また、最終処分場の延命化が図られるため、世代を超えた極めて重要な施策となります。

こうしたことから、当推進会議では、家庭ごみの有料化については、発生抑制やリサイクルの推進を進めることと併せて、ごみ減量効果が大きく減量努力を経済的利益(排出者の負担の軽減)として享受することができ、区民の間(減量に努力する者とそうでない者との間)の費用負担の公平化にもつながる有効な制度であるとの認識に達し、導入すべき時期に来ていると考えます。

しかし、この施策は、区民に直接的な経済的負担を強いるものであることから、導入するにあたっては、区民に十分かつ丁寧な説明をし、理解と協力を得ることが必要だと考えています。

この施策をより効果的に実施していくためには、区民の負担の公平性を担保することが重要です。具体的には、料金逃れによる不法投棄や不適正排出をいかに防止できるかです。そこで一部の自治体では、費用負担の導入と同時期に、ごみの収集方法を「集積所収集」から「戸別収集」に切り替えて対応しています。資源・ごみを各家庭の玄関先まで取りに行く「戸別収集」サービスについては、練馬区では、ごみを自ら集積所へ持ち出すことが困難な高齢者、障害者等の世帯に限定して実施しています。

区が行っているごみの収集・運搬に、戸別収集を導入するためには、収集場所の箇所数が集積所収集に比べ6倍程度に増加することから、清掃車両を約20%程度、増やさなければなりません。したがって、ごみ処理に係る費用の増が伴いますが、この方法を全世界帯に拡大することで、以下のような効果が期待できます。

- 分別意識の向上や排出抑制効果
- 排出時の持ち出しの負担の軽減
- 不適正排出時の個別指導による分別協力率の向上
- 集積所管理者の不快等の改善
- 不法投棄の抑制

このようなことから、区は、費用負担の導入と併せて「戸別収集」の実施についても検討することが必要と考えます。

ただし、実施するにあたっては、小規模集合住宅や大規模集合住宅への対応についても検討する必要があります。

また、循環型社会の形成を推進するために費用負担を区民に求めるからには、区としては資源の回収品目の充実といった更なるごみ減量への施策や、ごみの減量に積極的に取り組んでいる区民のサポートといったサービス向上につながる施策を充実させることも必要です。

さらに、手数料収入の用途については、不法投棄対策等のまちの美化に関する事業や、集団回収団体・参加事業者への支援、ごみ減量等の環境教育支援といった、リサイクル・清掃事業に限定して活用すべきといった意見が多数を占めました。また、地球温暖化対策事業や、コミュニティ活動の育成といったリサイクル・清掃事業以外に環境関係を含めて限定して活用すべきといった意見もありました。

いずれにしても、手数料収入については、ごみの減量に積極的に取り組んでいる区民にできるだけ還元するとともに、ごみの処理に係る収入と支出について、積極的に区民に公表していくことが、重要だと考えます。

なお、この施策の導入については、ごみ減量など重要な施策となることについては一致しているものの、委員からは「家庭ごみに費用負担を導入する前にやるべきことが、まだまだたくさんある。」「23区の中で練馬区だけで、また一部の区だけで有料化は成り立たない。また実施しても区民の利益にならない。東京都の仕組み変更と連動して、区民の利益になるように考えるべき。」「導入は、慎重にも慎重を期すべきである。」等の意見も出されました。

(省略)

2 荒川区

荒川区一般廃棄物処理基本計画の新たな策定に関する基本的な考え方について（答申）

23年12月

（省略）

基本方針 2 Rの充実によるごみ減量の推進

施策① 出来る限りごみを発生させない生活への転換

（リデュース（発生抑制）の更なる推進）

（省略）

○家庭ごみの有料化の検討

更なるごみの減量に向けた経済的手法の一つとして、家庭ごみの有料化がありますが、本区における導入については、更なる検討が必要です。他自治体の導入事例においては、一定のごみ減量効果や負担の公平化が図られるものの、一方で新たな費用負担が生じたり、不法投棄の危惧もあります。

この経済的手法を区民の納得につなげるためには、その前提として十分なごみ減量化施策を実施することも不可欠であり、導入に際してはごみ有料化を導入しない隣接区への影響を配慮するなど、23区間による調整・連携も必要と考えられます。

さらに、ごみの有料化の導入に当たっては、容器包装の軽量化や簡易包装など事業者による発生抑制に対する動機付けにつながる普及啓発も必要となります。

3 葛飾区

葛飾区リサイクル清掃審議会（答申）（概要）

平成22年8月

（省略）

4 さらなるごみ減量のための取組

（省略）

（3）経済的手法による家庭ごみの減量について

提案1 有料化導入の検討には区民に十分な説明を行い理解と協力を得るべき。

提案2 葛飾区の実情に合った有料化の制度を検討するべき。

4 目黒区

目黒区廃棄物減量等推進審議会（答申）

平成21年4月1日提案

（省略）

2 ごみの減量に有効な家庭ごみの有料化を区民とともに考えていく

家庭ごみの有料化が行われると、出すごみの量がそのまま料金にはね返るため「ごみを減らそう」「分別しよう」という意識が自ずと働きます。そうした意味合いから、ごみ減量に効果のある方法であると言われています。

家庭ごみを有料化することで、ごみ減量に取り組んだ人とそうでない人の不公平感をなくすこともできます。

しかし、現段階では、家庭ごみの有料化の有効性について、区民に対して十分な情報提供が行われている状況ではありません。また、反社会的な行為である不法投棄の撲滅や、事業所に対するごみの適正排出ルールの徹底なども解決しなければならない課題です。こうした有料化に係る効果や課題について、区民と充分話し合いを行うとともに、23区全体で有料化に取り組めるよう積極的に働きかけていくべきです。

5 豊島区

豊島区リサイクル・清掃審議会

平成20年10月

資源循環型地域社会の構築に向けた清掃・リサイクル事業のあり方について（答申）

（省略）

（3）家庭ごみ対策に関する方向性

家庭ごみの大幅な減量を図るため、家庭ごみの有料化導入が必要である。ただし、家庭ごみの有料化導入にあたっては、区民の理解と納得を得ることが不可欠であり、容リプラ資源回収の充実、戸別収集の実施を前提として位置づけなくてはならない。

まず、短期的な対応として、「3Rの取り組みに関する方向性」でも言及したとおり、新資源回収事業の定着を図るとともに、消費者にとって身近に感じられる3R啓発事業を展開すべきである。その上で、容リプラ回収の検討及び導入を図り、戸別収集に関する検討を深めていく必要がある。

次に、中期的な対応として、容リプラ回収の導入に加え、生ごみ回収の導入などにより、資源回収を拡充し、ごみの減量を推進すべきである。そのうえで、家庭ごみ有料化導入を見据えた戸別収集モデル事業を実施することが望ましい。

長期的な対応として、容リプラ回収の定着を図ることで家庭ごみの減量を推進する一方、ごみ量の動向を勘案したうえで、家庭ごみ有料化・戸別収集の全域実施を図ることが望ましい。全域実施に際しては、事業の目的や趣旨に関して区民への説明責任を十分果たすことが求められる。また、有料化による排出抑制効果を維持するため、継続的な啓発やごみ量等に関する情報公開を実施する必要がある。

（省略）

参考資料

その他の意見

家庭ごみの有料化に関して、一部委員から「区民への経済的な負担が強まるため、家庭ごみ有料化には反対である」という意見が出た。

6 中野区

中野区廃棄物減量等推進審議会（答申）

平成20年8月5日

（省略）

2-3 中野区における家庭ごみ有料化導入の必要性

上記の施策によるだけで、平成27年度までにごみ半減を達成するのは非常に厳しいといわざるを得ません。各種施策を複合的に実施することを前提に、ごみ減量の有力な手段の一つとして、家庭ごみ有料化を導入する必要があります。施策を複合的に実施することによって、有料化も他の施策も、より大きな効果が生み出せることとなります。

すでに全国市区町村の57.6%（2008年7月時点）で家庭ごみが有料化されており、多摩地域はもとより、人口規模の大きな政令指定都市でも有料化が導入され始めています。有料化を導入した市町村ではごみの減量効果が得られており、また市民の減量意識も向上しています。

ごみ半減目標を掲げている中野区にあっては、ごみ減量のため資源のリサイクルルートを整備すること、不法投棄・不適正排出対策を講じること、収集方式の見直しをすること、事業系ごみ対策を講じること、清掃ボランティア活動や紙おむつが多く出る子育てのための支援など社会的な配慮をすることなどを前提条件に、消費者の購買行動の変化による環境配慮型の生活様式への誘導効果や発生抑制によるごみ減量効果があり、また負担の公平化を図ることができる家庭ごみ有料化を、以下の理由から実施すべきです。

(1) ごみ処理施設が中野区内に所在しないこと

自区内処理の原則からいうと、中野区から出るごみは中野区内で処理しなければなりません。しかし、中野区を含む東京23区は、東京二十三区清掃一部事務組合において総括的にごみ処理を行っています。現在、中野区内には一部事務組合の清掃工場は所在していないため、区内から出るごみは、他区に立地するごみ処理施設で処理されています。

中野区のごみが他区に所在する清掃工場で処理されているという状況を考慮すれば、区民一人ひとりが自ら出すごみに責任を持ち、積極的に減量に取り組む必要があります。中野区において家庭ごみ有料化を導入する必要性は高いと言えます。

(2) 発生抑制・資源化促進策が必要であること

現行施策だけでは、ごみ減量の目標達成は困難です。ごみの量を減らすためには、区民一人ひとりの意識改革が必要です。家庭で出るごみを減らす工夫だけでなく、買い物の段階でごみにならない商品を選択するような工夫が求められます。今までごみ問題に関心の無かった人も含め、ごみ問題に正面から向き合うことが大切です。また、資源をきちんと分別し、排出ルールを守ることが必要です。そのための促進策として、家庭ごみ有料化は効果的です。

(3) 取り組みの成果が実感できる仕組みが必要であること

中野区は、若年層・単身層が多いという特徴を持っています。こうした層には、区からの情報が届きにくく、それによって一部にはごみ出しマナーが守られないといった問題点も生まれています。こうした若年層・単身層を含め、広く区民がごみ減量の努力を実感できるような仕組みを構築することが必要です。

家庭ごみの有料化によって、ごみを多く出すほど経済的な負担は増し、逆にごみを減らせば少ない負担で済むこととなります。一人ひとりがごみを減らす努力の成果を実感できる仕組みとして、家庭ごみ有料化が必要です。

(4) 地球温暖化対策を含む環境対策としてごみ減量の推進が必要であることごみを減らすことは、私たちが身近にできる環境対策の一つです。例えば、埋立処分するごみ量の削減は、最終処分場の延命化、すなわち自然環境保全につながります。また、ものの消費を抑制することで資源の有効利用に貢献できます。可燃ごみを削減することは、焼却処理の過程で発生する窒素酸化物などの排ガスを低減することにつながり、大気環境の保全にも寄与できます。

さらに、地球温暖化対策としても効果があります。ごみを減量化することで、収集運搬に要する燃料消費量を削減することができます。また、可燃ごみの減量化は焼却処理量の削減につながります。これらはすべて、地球温暖化の原因とされる二酸化炭素など温室効果ガスの低減に寄与するものです。

このように、ごみ減量は地球温暖化対策を含む環境対策として重要であり、家庭ごみ有料化を実施することにより、大幅なごみ減量を推進する必要があります。

(省略)

7 北 区

北区資源循環推進審議会（答申）

平成20年1月

循環型社会の構築へ向けた北区の施策のあり方
（省略）

6 家庭ごみの有料化に関する検討

国や東京都においては、家庭ごみの有料化はごみの排出抑制に効果的であるとの考えを示しており、全国の自治体で有料化の導入または検討が行われている。有料化の主な目的は、最終処分場のひっ迫や清掃事業の運営を踏まえたごみの減量であるが、負担の公平性の確保や区民のごみに対する意識改革などの効果も期待できる。

ただし、一時ごみ量は減少するものの、リバウンドを起こしている自治体があることも無視できない。導入にあたっては、効果的なシステムの設計について十分配慮する必要がある。

北区における家庭ごみの有料化の検討にあたっては、区民の理解と支持をいかに得られるかが課題となるであろう。そのためには、まずは清掃事業の効率化とサービスの向上を図り、廃棄物の減量目標やごみ処理原価、リサイクルコストなどの情報を適宜提供するとともに、先行して有料化を導入した自治体の調査や検証を踏まえ、その必要性や手数料の使途などをわかりやすく説明していかなくてはならない。

■エコープラン2018（北区一般廃棄物処理基本計画）での記述

○個別計画

（1）区民・事業者・行政の協働による3Rへの取り組みの推進

③行政によるごみの発生・排出抑制及び資源化のための施策

ウ 家庭ごみの有料化の検討

北区では、家庭ごみのさらなる削減を目指すため、家庭ごみの有料化について検討を進める。検討にあたり、清掃事業の効率化とサービスの向上を図ることを前提とし、①料金体系や料金水準、手数料徴収方法、手数料の使途と運用などの有料化の仕組みから、②住民や事業者との連携などに関する有料化の導入までの経緯や運用方法、③有料化導入後の評価と見直しなど、有料化導入自治体の事例調査などを実施した上で検討する。

（P36）

有料化実施5市のごみ収集状況（平成25年4月1日現在）

人口	八王子	調布市	町田市	多摩市	西東京市
世帯数	579,479	225,372	428,523	146,006	198,653
平均世帯人数	257.331	111,142	186,397	65,455	89,583
	2.25	2.03	2.30	2.23	2.22
処理	東京たま広域資源循環組合				
有料化実施年月	H16.10	H16.4	H17.10	H20.4	H20.1
戸別収集導入時期	戸別 H16.10 (有料化同時)	戸別 H16.2 (有料化に併せて)	戸別 ステーション(3,638カ所) H17.10 (有料化同時) 指定袋	戸別 ステーション(2,005カ所) H12 (H20.4有料化)	戸別 H19.9 (H20.1有料化)
手数料収納方法	単純従量制				
料金体系	9円/5ℓ 18円/10ℓ 37円/20ℓ 75円/40ℓ	84円/5ℓ 27.3円/15ℓ 55.6円/30ℓ 84円/45ℓ	8円/5ℓ 16円/10ℓ 32円/20ℓ 64円/40ℓ	7円/5ℓ 15円/10ℓ 30円/20ℓ 60円/40ℓ	7.5円/5ℓ 15円/10ℓ 30円/20ℓ 60円/40ℓ
有料対象	可燃・不燃・粗大	なし	なし	可燃・不燃・粗大・ブラ	プラスチック プラスチック 20円/40ℓ
資源有料回収	なし	なし	なし	プラスチック 10円/20ℓ	プラスチック 20円/40ℓ
減免制度	おむつ・ボランティア低所得世帯等の減免制度あり				
手数料水準	1.88円	1.87円	1.60円	1.50円	1.50円
雑みみ分別	○	○	○	○	○
集団回収	○	○	○	○	○
資源回収品目	びん	びん	びん	びん	びん
	缶	缶	缶	缶	缶
	ペットボトル	ペットボトル	ペットボトル	ペットボトル	ペットボトル
	プラスチック	プラスチック	プラスチック	プラスチック	プラスチック
	新聞	古紙(新聞・雑誌・本・ダンボール・雑紙)	古紙(新聞・雑誌・本・ダンボール・雑紙)	新聞	古紙(新聞・雑誌・本・ダンボール・雑紙)
	雑誌・雑紙・紙パック	ダンボール・雑紙	※紙パック含む	雑誌・雑紙	※紙パック含む
段ボール	牛乳パック類	※紙パック含む	段ボール	※紙パック含む	
古着・古布	古着	古着	古着	古着	古着
有書ごみ	有書ごみ	電池・蛍光灯・スプレー缶	有書ごみ	有書ごみ	有書ごみ
			小型家電・金属	金属	金属
					廃食用油
周知方法	地区別カレンダー方式	地区別カレンダー方式	地区別カレンダー方式	地区別カレンダー方式	地区別カレンダー方式

出典：「東京都市町村清掃事業年報 平成23年度実績」、「東京都及び各市HP」より抜粋

家庭ごみ有料化の試算

有料化している東京5市（八王子、調布市、町田市、多摩市、西東京市）は、「家庭ごみ有料化」「戸別収集」「プラスチック（町田市除く）の資源回収」などの減量策の実施により有料化直後で約23%、導入5年目または2010年度の平均も約25%と約2割の減量を確保している。

そのため、平成23年度ごみ量を2割減量したとして、一人一日あたりごみ量の推計と指定袋の種類や価格などを設定して平均世帯の負担額の試算を行った。

1 一人一日あたりごみ量の推計

想定ごみ量 420g（可燃ごみ400g・不燃ごみ20g）

（内訳）平成23年度のごみ量を基に一人一日あたりごみ量を算定した。

①北区のごみ量（可燃ごみ・不燃ごみ）※ ¹	69,060.14 t
②事業系行政回収量※ ²	4,397.92 t
③北区の家ごみ（①－②）	64,662.22 t
④一人一年あたり排出量（③÷人口※ ³ ）	193.91kg
⑤一人一日あたり排出量	531 g
⑥可燃ごみと不燃ごみの割合算出※ ⁴	(可燃) ≒ 500 g (不燃) ≒ 25 g
⑦有料化、資源化推進に伴う減量20%	(可燃) = 400 g (不燃) = 20 g

※1 清掃工場に持込まれた事業系ごみを除いた可燃ごみと不燃ごみの量

※2 北区が家庭ごみと同時に回収したごみ量の推計は、事業系ごみ処理券の23年度販売実績（142,932,225円）を条例手数料（32.5円）で除して算定した。

※3 平成23年4月の北区人口（外国人含む）333,461人

※4 区が収集した可燃ごみ量65,795.77tと不燃ごみ量3,264.37tの割合（20対1）

2 指定袋の種類、ごみ量及び価格設定

(1) 一袋に入のごみの量

北区事業系ごみ処理券の換算値（1ℓ=0.19kg）を準用して設定した。

大袋 45ℓ 8,550g（8.5kg）

(2) 袋ごとの単価設定

東京都の比較5市（八王子、調布市、町田市、多摩市、西東京市）の平均手数料水準（1.67）を参考に設定した。

手数料水準（1リットルあたり）1.6円

【ごみ袋の種類と価格設定】

大きさ	一袋あたりごみ量	一袋あたり単価
45ℓ	8,550g	72 円
30ℓ	5,700g	48 円
20ℓ	3,800g	32 円
10ℓ	1,900g	16 円

3 平均世帯の負担額

(1) 平均世帯数

平成 23 年 4 月 1 日現在の住基台帳人口及び世帯数で平均世帯数を算定した。

人口 (①)	317,598
世帯 (②)	168,730
平均世帯 (①÷②)	1.88 人

(2) 平均世帯一週間の排出量

可燃 400g × 平均世帯 1.88 人 = 752g/日

752g × 7 日 = 5,264g

不燃 20g × 平均世帯 1.88 人 = 37.6g/日

37.6g × 7 日 = 263.2g

(3) 排出量と収集回数から袋の種類と袋の枚数を算定

	排出量 (週)	ごみ出し 回数	1 回の排出量	袋の種類	袋枚数/年 (年 52 週)
可燃	5,264g	週 2 回 (週前半 4 日) (週後半 3 日)	週前半 3,008g (20ℓ) 週後半 2,256g (20ℓ)	<u>20ℓ袋 (32 円)</u>	<u>104 枚/年</u>
不燃	263.2g	月 1 回	1,053g (10ℓ)	<u>10ℓ袋 (16 円)</u>	<u>12 枚/年</u>

(4) 平均世帯負担額

①可燃ごみ (20ℓ袋) 32 円 × 104 枚 = 3,328 円

②不燃ごみ (10ℓ袋) 16 円 × 12 枚 = 192 円

年間負担額 (①+②)	年 3,520 円
月額負担額 (①+②) ÷ 12 か月	月 293 円

※小数点以下切り捨て

東京都北区資源循環推進審議会 委員名簿

(平成 25 年 6 月 19 日現在)

区分	氏名	備考
学識経験者	やま や しゅうさく 山谷 修作	東洋大学経済学部教授
	かとうの たけし 上遠野 武司	大東文化大学経済学部教授
	まつなみ じゅんや 松波 淳也	法政大学経済学部教授
区議会議員	えのもと はじめ 榎本 はじめ	北区議会議員
	あおき ひろこ 青木 博子	北区議会議員
	ほんだ まさのり 本田 正則	北区議会議員
	いしかわ さえだ 石川 小枝	北区議会議員
区民	いがらし よしのり 五十嵐 芳則	公募区民
	おおくぼ しげる 大久保 繁	公募区民
	ますはし のりこ 増橋 典子	公募区民
	ほりえ たけし 堀江 毅	北区町会自治会連合会
	たけこし さとこ 竹腰 里子	特定非営利活動法人 北区リサイクラー活動機構
	まきもと たつお 牧元 達雄	北区地域リサイクラー協議会
	さいとう くにひこ 齋藤 邦彦	北区清掃協力会
	やまくち のりこ 山口 紀子	堀船生活学校
事業者	おばな ひでお 尾花 秀雄	北区商店街連合会
	わにぶち ゆうじろう 鰐淵 雄二郎	リサイクラー事業協同組合
	さいとう まさみ 齋藤 正美	(社)北区産業連合会
区職員	よりた そのこ 依田 園子	北区政策経営部長